



北海道洞爺湖サミット記念植樹 「ストップ地球温暖化 in 旭川」

今年は、洞爺湖サミットを記念した植樹行事が各地で開催されました。
北海道旭川では、道北地方の「木を使い、森林を育てる」関係者が協力し、
木のまち・家具のまちの将来につなげと「旭川 カムイの森」をつくりました。
地域の木材産業に役立つ貴重な活動を紹介します。

CO₂を食べて育つ森林は 木質原材料の倉庫

洞爺湖サミットの開催を記念し、北海道各地では、「未来の子供たちに豊かな緑を残そう」と様々な植樹行事が行われました。

今回紹介する「ストップ地球温暖化 in 旭川」は、「CO₂を食べて育つ森林は再生可能な資源、木のまち・家具のまち旭川の未来に欠くことのできない資源」との考えで行われた植樹活動です。

洞爺湖サミットで地球環境が話し



旭川カムイスキーリンクスに集合。バス 14 台で現地へ。



植樹本番。1人で70本以上植えた人もいました。



記念標柱を設置。幅30センチのトドマツを使用。

北海道洞爺湖サミット記念植樹参加団体

- 主催 「道北の美しい森林づくり実行委員会」**
 旭川地方木材協会 旭川林産協同組合 旭川木材青年協議会
 (社)北海道建築設計事務所旭川支部 旭川クラフト普及協会
 旭川家具工業協同組合 旭川地方原生産事業協同組合
 旭川地方原木市協同組合連合会 旭川工芸デザイン協会
- 協力団体等**
 北海道森林管理局旭川事務所 旭川林業土木協会
 北海道上川支庁 北海道留萌支庁 北海道宗谷支庁
 北海道立林産試験場 北海道森林組合連合会旭川営業所
 北海道山林種苗協同組合上川地区種苗協議会 (財)林野弘済会旭川支部
 旭川林窓会 旭川地方森林整備事業協同組合
- 後援団体等**
 上川南部流域森林・林業活性化センター
 上川北部流域森林・林業活性化センター
 留萌流域森林・林業活性化センター
 宗谷流域森林・林業活性化センター
 道北地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会

合われるこの年、「仕事で木を使う者は、自らが木を植えなければならぬ」と木を使う団体が「道北の美しい森林づくり実行委員会」を結成し、傘下企業の社員とその家族に参加を呼びかけた。そして、「森林を育てる」行政・団体に協力を要請。このことで木を使い、森林を育てる関係者が一同に集う植樹行事が実現。開催されたのは六月八日。会場は、上川中部森林管理署から提供された、更進国有林の平成十六年の台風十八号風倒被害跡地。手弁当参加の約六五〇名により、森林吸収源目標

に因み設定した三・八ヘクタールに八〇〇〇本を植樹。植樹されたのは、将来、道北の木材産業を支える建築材・家具材に育てると願いを込め、北海道の代表樹種アカエゾマツ、ミズナラなど八種。お祭色を排した会場では、使用済み割り箸で表示した植穴に黙々と鍬を振るう姿が。植樹後、お礼の挨拶に立たれた伊藤茂喜実行委員長の壇上は、ビールの箱に敷かれたコンパネ一枚。このように徹底したエコ開催の中にあつて、唯一会場で振る舞われ絶賛されたトン汁ですが、これも

お箸・お椀は各自持参と厳しい。この植樹は、林政統一後の北海道林政史において、民間主催では最大規模となりました。今後、木材の輸入が厳しくなると予測されている中、自ら使う木を自らの手で育てる大切さを体感する今回の行事は、林業・木材界の大きな自信となるとともに、森林は、道北の基盤産業にとつて重要な資源であると地域の人々にPRする機会となるなど、非常に意味のあるものになったことでしょう。